

安全データシート (SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称
 製品名 スポットセラミック
 整理番号 11-17030-1
 製品の種類 練り状コーキング剤 (不燃性)

会社情報

会社名 メグロ化学工業株式会社
 住所 茨城県古河市下大野1768
 担当部署 技術部
 電話番号 0280-92-1221
 FAX 番号 0280-92-7147
 緊急連絡先 0280-92-1221

推奨用途および使用上の制限

スポット溶接用シーリング材

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理的科学的危険性 : 区分外
 健康に対する有害性 : 区分外
 急性毒性 (経口) : 区分外
 (経皮) : 分類できない
 (吸入:ガス) : 分類対象外
 (吸入:蒸気) : 分類できない
 (吸入:粉塵) : 分類対象外
 (吸入:ミスト) : 分類できない
 皮膚刺激/腐食性 : 区分外
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 分類できない
 呼吸器感受性 : 分類できない
 皮膚感受性 : 区分1
 生殖細胞変異原性 : 分類できない
 発ガン性 : 区分2
 生殖毒性 : 区分2
 特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) : 分類できない
 特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露) : 区分2 (肺)
 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない
 環境に対する有害性 : 区分3
 水生環境有害性 (急性) : 区分3
 水生環境有害性 (慢性) : 区分3
 オゾン層への有害性 : 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 警告

危険有害性情報 アレルギー皮膚反応を起こすおそれ
 発がんのおそれの疑い
 生殖能力または胎児への悪影響のおそれの疑い
 長期にわたる、又は反復暴露による臓器 (肺) の障害のおそれ
 水生生物に有害
 長期永続的影響によって水生生物に有害

注意書き

「安全対策」 使用前に安全データシートを入手し、全ての安全性注意を読み理解するまでは取り扱わないこと。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入をしないこと。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面など保護具を着用すること。
 取り扱い後は、手洗い、うがい等を行うこと。
 環境への放出を避けること。
 指定された用途以外には使用しないこと。
 「応急処置」 暴露またはその懸念がある場合、医師の診断/手当てを受けること。
 皮膚 (または毛髪) に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
 皮膚刺激または皮膚発疹が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 気分が悪い時には、医師の診断/手当てを受けること。
 「保管 (貯蔵)」 容器を密栓し、換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
 施錠して保管すること。

「廃棄」 内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託し廃棄すること。

3. 組成・成分情報

単一化学物質・混合物の区別 混合物
 化学名または一般名 合成樹脂系コーキング材
 成分情報

成分番号	内容成分 (化学名または一般名)	含有量 [wt%]	化学式	CAS No	PRTR 法 政令番号
1	合成樹脂	30-40	-	非公開	非該当
2	石油系炭化水素 (鉱油ほか)	10-20	特定できない	-	非該当
3	非晶質二酸化ケイ素 (シリカ)	1-10	特定できない	112926-00-8	非該当
4	カーボンブラック	1-10	C	1333-86-4	非該当
5	その他添加剤	1-10	-	-	非該当
6	水	30-40	H ₂ O	-	非該当

4. 応急措置

吸入した場合 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 水でうがいをする。必要に応じて、医師の診断/手当てを行うこと。

皮膚に付着した場合 付着物は布で素早くふき取ること。
 多量の水および石鹸または皮膚用の洗剤で十分に洗い流す。溶剤、シンナーは使用しないこと。
 速やかに全ての汚染された衣類を脱ぐこと。再使用前に洗濯すること。
 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、直ちに医師の診断、手当てを行うこと。

眼に入った場合 直ちに新鮮な流水で数分間、注意深く洗うこと。
 眼球を傷つける可能性があるのでこすらない。
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる際には外すこと。洗浄を続けること。
 刺激が継続するか刺激が再発する場合は医師による手当てを行うこと。

飲み込んだ場合 直ちに吐かせて、水で口の中をよくすすぐこと。
 直ちに医師の診断、手当てを受けること。

予想される急性症状
 及び遅発性症状 接触による皮膚の刺激と脱脂及び眼の刺激、発赤、痛み。

応急処置をする者の保護 十分な換気を行う。
 状況に応じて適切な眼・皮膚の保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤 粉末消火剤、炭酸ガス、泡 (耐アルコール) 消火剤
 使ってはならない消火剤 棒状水
 散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、散水以外の適切な消火剤を使用すること。

特有の危険有害性 燃焼、または高温により有毒なガス (一酸化炭素など) やヒュームが発生するおそれがある。
 特有の消火方法 可燃性のものを周囲より素早く取り除く。
 危険でなければ、火災区域から容器を移動する。
 作業は風上から行う。
 移動不可な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。
 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護 消火作業の際は、空気呼吸器を含め、適切な化学用保護衣を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
 保護具及び緊急措置 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしないこと。
 直ちに全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離して、関係者以外を近づけないようにする。
 作業者は、適切な保護具を身につけ、眼、皮膚への刺激やガスの吸入を避ける。
 密閉された場所に立ち入る前には換気する。

環境に対する注意事項 排水溝、下水溝、河川に流出しないよう注意すること。環境中に放出してはならない。
 回収、中和、封じ込め 少量の場合は、乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収し、あるいは覆って密閉可能な容器に回収する。後で廃棄処理する。
 及び浄化の方法 多量の場合は、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて密閉可能な容器に回収する。
 二次災害の防止 付近の着火源を速やかに取り除くこと。(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)
 排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への混入を防ぐこと。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い
 技術的対策 関連する法規に基づいて取り扱うこと (消防法、労働安全衛生法など)。
 火気注意。取扱場所及び周辺の火気または高温体などとの接触を避ける。
 適切な保護手袋、衣類、および眼、顔面用の保護具を着用すること。
 できるだけ皮膚に触れないようにする。
 漏えい、飛散などせず、蒸気発生を極力抑える。
 蒸気の発生する場所には局所排気装置を設けること。

安全取扱注意事項 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 接触、吸入又は飲み込まないこと。眼に入れないこと。
 取り扱い後はよく手を洗うこと。
 取り扱う際には、飲食、喫煙はしないこと。
 環境への放出を避けること。

保管
 保管条件 火気または高温体などから離して保管すること。

